

# 新冠町立新冠小学校

## 学校図書館活用のポイント

- ① 図書施設の団体貸し出し制度を活用し、本単元の中心教材である「ないた赤おに」の学習に合わせて並行読書を行うための本を借りています。
- ② 公立図書館の司書による日常的な学校図書館の書棚の整理などの環境整備について支援を受けることにより、児童がいつでも必要な図書を探すことができます。

### 1 単元名

「お話しじゅつかん」を作ろう（小学校第2学年 国語科）

### 2 単元の目標と評価規準

【単元の目標】 ・登場人物の気持ちの変化を、想像を広げながら読むとともに、自分が読んだ本の中で、最も心に残った内容を紹介することができる。

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
・好きな本の絵を描き、進んで紹介しようとしている。	・今までに読んだ本を思い出したり、学校図書館でお気に入りの本を見つけたりして紹介する。	・誰が出てきて、どうなる話かを意識して読んだり紹介したりしている。

### 3 単元の指導計画



時	主な学習活動	■評価規準 □評価方法
1	<p>○「ないた赤おに」の学習を振り返り、「お話しじゅつかん」をつくるという学習の見通しをもつ。</p> <p>学校図書館や図書プラザの団体貸し出しを活用し、「ないた赤おに」の学習に合わせて並行読書を行う。また、読書した本の題名や作者名などをメモしておく。</p> <p><b>【ポイント①】</b> 図書プラザ※1の団体貸し出しを活用し、「ないた赤おに」の学習に合わせて並行読書を行うとともに、読んだ本の題名、作者名、内容及び感想などをその都度、それぞれがノートにまとめる。</p> <p>※1・・・新冠町にある図書施設</p>	<p>■好きな本の絵を描き、進んで紹介しようとしている。 【関・意・態】</p> <p>□発言・観察</p>
2	<p>○自分の読書経験を振り返る。</p> <p>・教科書の付箋を参考にしたり、図書館を活用したりしながら、読んでみたい本を見つける。</p>	<p>■今までに読んだ本を思い出したり、学校図書館でお気に入りの本を見つけたりして紹介する。 【読む】</p> <p>□発言・観察</p>
3 ～ 5	<p>○自分の好きな本を選んで読む。</p> <p>○自分が心に残った場面を選び、選んだ理由を考える。</p> <p>○心に残った場面を絵に描く。</p> <p>学校図書館や図書プラザの多くの本の中から、好きな本を選ぶようにする。</p>	<p>■今までに読んだ本を思い出したり、学校図書館でお気に入りの本を見つけたりして紹介する。 【読む】</p> <p>■誰が出て、どうなる話かを意識して読んだり紹介したりしている。 【言語】</p> <p>□作品・発言</p>
6 本時	<p>○心に残った場面について、お気に入りの言葉を抜き出したり、自分で考えた言葉を付け加えたりしながら題名をつける。</p> <p>○グループでの交流を踏まえて、言葉や題名について深める。</p>	<p>■今までに読んだ本を思い出したり、学校図書館でお気に入りの本を見つけたりして紹介する。 【読む】</p> <p>□作品・交流の様子</p>
7 ～ 8	<p>○作成した「お話しじゅつかん」を廊下に展示し、他学級と自分の読んだ本について交流し合う。</p> <p>作品を掲示することで、他の学年にも図書活動を楽しんでもらえるようにする。</p>	<p>■今までに読んだ本を思い出したり、学校図書館でお気に入りの本を見つけたりして紹介する。 【読む】</p> <p>□組み立て表</p>

## 4 本時の学習

### □本時の目標

紹介する人のことを考えて、絵にふさわしい題名を考えようとしている。（読むこと）

### □本時の展開

過程	○主な学習活動	■評価規準 □評価方法 ◇留意点
導入	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>課題：絵に合った「だい名」をつけよう。</b> </div> <p>○ルーブリックを確認する。</p> <p>※題名を一つ考え、理由を言えた。</p> <p>※題名を一つ言えた。</p> <p>※題名を先生と一緒に考えた。</p>	<p>◇課題の発表T 1、課題の提示T 2</p> <p>◇単元の流れを提示し、本時の学習で何をするのかを明確にする。</p>
展開	<p>○「かさこじぞう」の絵につけられた3つの題名を見て、題名の付け方を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 登場人物のセリフをもとにする。</li> <li>② 登場人物の動き（行動）をもとにする。</li> <li>③ 本に使われた言葉をもとにする。</li> </ol>  <p>○絵に合わせた題名を考え、ワークシートに書く。</p> <p>※題名を付けた理由についても書く、</p> <p>○班で題名を交流する方法を確認する。</p> <p>※T 1、T 2による見本を示す。</p> <p>※題名を付けた理由、どのような付け方（セリフ、動き、言葉）を選択したのかについても交流する。</p> <p>○班で交流する。</p> <p>※自分の選んだ本を手元に置き、本の内容を振り返りながら絵に付けた題名を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【ポイント②】</b></p> <p>公立図書館の司書による日常的な学校図書館の書棚の整理などの環境整備について支援を受けることにより、児童がいつでも必要な図書を探すことができます。</p> </div>	<p>◇絵に付けられた題名の工夫を児童からできるだけ引き出すようにする。</p> <p>◇題名はいくつ考えてもよい。題名を考えるのが難しい児童については、1つでもよいことを確認する。</p> <p>◇支援が必要な児童には、状況に応じて穴埋め式のカードを渡し、題名を考えるための手立てとする。</p>  <p>■紹介する人のことを考えて、絵にふさわしい題名を考えようとしたか。 <b>【読む】</b></p> <p>□ワークシート、観察</p>
終末	<p>○絵に付けた題名について、全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>課題：絵に合った「だい名」をつけることができた。</b> </div> <p>○本時のまとめをする。</p> <p>○本時の学習を振り返り、次時の活動への意欲をもつ。</p>	<p>◇全体交流で、数名の児童の発表をもとにしながら本時のまとめにつなげる。</p>

## 「チーム読書」新冠小学校の取組

### 取組1 公立図書館との連携

#### 【学校図書館の環境整備等】

公立図書館司書から、学校図書館の書棚の整理や蔵書管理などの方法について指導・助言を受けています。

また、一日図書館司書の体験活動や移動図書館バスの運行などの支援を受けています。



【図書館司書体験】

### 取組2 図書ボランティアとの連携

#### 【町が一体となった取組】

学校図書館の活性化に向け、町に図書ボランティアの募集を呼びかけるとともに、図書の貸し出し、読み聞かせ及び学校図書館の環境整備について、学校と連携を図った取組を行っています。



【図書ボランティア読み聞かせ】

# 利尻富士町立鷺泊小学校

## 学校図書館活用のポイント

- ① 「情報活用能力の系統表」及び「学校図書館活用年間計画」を作成し、全校で活用することにより、学校図書館の活用の見通しを持つことができたり、授業に必要な資料を十分に準備したりすることができるようになった。
- ② 学校図書館の机や椅子の配置を工夫したり、作業スペースを確保したりすることにより、児童の調べ学習の効率や作成物の質の向上が図られた。

### 1 単元名

「世界遺産 白神山地からの提言 意見文を書こう」(小学校第5学年 国語科)

### 2 単元の目標と評価規準

- 【単元の目標】・自然の素晴らしさに興味をもち、自然保護に対する自分の考えを深めることができる【関心・意欲・態度】
- ・資料を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりできる。【読む】
  - ・資料の文や言葉を引用したり、図表やグラフなどを用いたりし、自分の考えが伝わるように書くことができる。【書く】
  - ・意見文の構成について理解することができる。【言語】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語に関する知識・理解・技能
・自分の考えを明確にしたり、考えを広げるため、目的に応じて資料を活用したりしようとしている。	・資料を友達の考えを生かして、自然保護に関する意見文における自分の考えを深めている。	・意見文において、引用や図表、グラフを効果的に用いて、自分の考えが伝わるように工夫している。	・友達の書いた意見文から様々な文章の構成のちがいに着目している。

### 3 単元の指導計画

時	主な学習活動	■評価規準
1	・世界遺産の映像や資料をみて、自然を大切にしたい、守っていききたいという気持ちをもつ。 ・身近な自然である利尻島の自然を守っていききたいという気持ちをもつ。	■自然の素晴らしさに興味をもち、自然保護に対する自分の考えを深めようとしている。【関・意・態】
2	・単元とリード文を読み、自分の意見を文にまとめることについて話し合い、学習の見通しをもつ。	■意見文を書く目的を理解し、単元全体の学習の見通しをもち、意見文を書くことに意欲をもっている【関・意・態】
3	・自然保護のあり方を考えるため、白神山地について書かれた2つの文章を読み、白神山地の自然保護の方法について知る。	■自然保護について2つの立場があることを理解している。【読む】
4	・白神山地の自然保護に対する意見文を読み、意見文の構成の大体をつかむ。	■意見文の構成を理解している。【言語】
5	・利尻島の自然保護の方法を調べるために、資料を集める方法を考える。	■意見文を書くために、必要な資料を考え、集めようとしている。【関心】
6 7 8	・利尻島の自然保護について様々な資料やゲストティーチャーの話をもとに自分考えを表記し、立場を決める。	■様々な資料を比べて読み、自分の考えを深めている。【読む】 ■自分の考えの元となる根拠を集め、整理している。【書く】
9 本時	・自分の考えに沿うものや根拠になるものを資料から選びワークシートにまとめる。	■自分の考えが伝わるように引用や図表、グラフを効果的に用いている【書く】
10 11	・ワークシートから自分の考えとその根拠を整理して意見文を書く。	■目的や意図に応じて適切な表現を意識し、事実と考えを区別して書いている。【書く】
12	・友達と意見を読み合ったり、振り返りを行ったりする。	■友達の書いた意見文から、様々な文章の構成のちがいに着目している。【言語】

#### 4 本時の学習

##### □本時の目標

- ・自分の考えの根拠となるものを友達に説明するために、複数の資料を読むことができる。(読むこと)

##### □本時の展開

過程	○学習活動	■評価規準 □評価方法
導入	<p>○単元の目標を確認する。</p> <p>○前時までの学習を振り返る。</p> <p>※集めた資料の確認や資料から考えられる自然保護の立場を確認する。</p> <p>○白神山地の自然保護について書いた意見文を確認し、本時の学習では意見文の「中」について書くことを確認する。</p> <p>○本時のめあてを書く。</p>	<p>■自分の考えや事実を書くことに対して意欲をもっている。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>
展開	<p>めあて：自分の考えがより伝わる意見文にするために工夫しよう。</p> <p>【情報活用能力育成の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立場によって付箋の色を変え、資料に対する考えを書いている。</li> </ul> <p>○資料から自分の考えの元となる根拠を探し、見つけた根拠をワークシートに記入する。</p> <p>※教室に掲示している資料や児童の手元にある資料から、自分の考えの元となる根拠をいくつか選びワークシートに記入する。</p> <p>※根拠を選ぶことのできない児童には、色分けしている付箋から自分の立場に合うものを選ぶように声を掛ける。</p> <p>※引用した資料や言葉がわかるように「 」をつけて書くことを指導する。</p> <p>【情報活用能力育成の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文の構成通りになっているワークシートを用いる。</li> </ul> <p>○同じ立場同士で、自分の考えを明確にするために何を根拠にしたのか発表し合う。</p> <p>※考えと根拠が違ってないか、互いに確認する。</p> <p>※根拠を選んだ理由も合わせて発表する。</p> <p>○友達の発表の中で、説得力のあった考えを学級全体で発表する。</p> <p>※友達が引用した資料と考えも合わせて発表する。</p> <p>○発表したものを確認し、共通点を探す。</p> <p>※資料の中の言葉を引用している、図表を引用しているなどの共通点を確認する。</p>	<p>【ポイント①】</p> <p>「情報活用能力の系統表」及び「学校図書館活用年間計画」を作成し、全校で活用することにより、学校図書館の活用の見通しを持つことができたり、授業に必要な資料を十分に準備したりすることができるようになった。</p> <p>■友達の考えと自分の考えを比べて読み、自分の考えを深めている。 【読む能力】</p> <p>□ワークシート</p> <p>【ポイント②】</p> <p>学校図書館の机や椅子の配置を工夫したり、作業スペースを確保したりすることにより、児童の調べ学習の効率や作成物の質の向上が図られた。</p>
終末	<p>まとめ：資料をもとに引用すると、自分の考えがより伝わる。</p> <p>○めあてを達成できたか振り返りする。</p> <p>・自分の考えの元となる根拠が資料から引用できたか、相互確認をする。</p> <p>○次時の学習内容の確認をする。</p>	

## 「チーム読書」鴛泊小学校の取組

### 取組 公共図書館（利尻町どんど）との連携



【貸出し】  
授業などで活用する図書資料の貸し出しを受けています。



【環境整備】  
子供たち全員がゆったりと学習することができる机や椅子を確保するとともに、レイアウトも工夫しました。

取組の成果〔第5学年〕  
学校図書館を活用している児童の割合  
整備前 23%  
整備後 84%

# 池田町立池田中学校

## 学校図書館活用のポイント

- ① 俳句に対する興味関心を高めるとともに、より多くの俳句にふれさせたいことから、池田町図書館に協力を依頼して俳句に関する図書資料を収集し授業で活用した。
- ② 俳句をより深く読み取ることを目的に、鑑賞する上で浮かんだ疑問などを調べるため学校図書館の図書資料を活用した。

### 1 単元名

語りと向き合う「近代の俳句」（中学校第3学年 国語科）

### 2 単元の目標と評価規準

【単元の目標】 ・文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むことができる。  
・文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価することができる。

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
・俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。	・俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。	・俳句の形式を知り、声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。

### 3 単元の指導計画

時	主な学習活動・指導上の留意点	■評価規準 □評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標や活動内容を知り、学習の見通しを持つ。（「学びガイド」の活用）</li> </ul> <div>近代の俳句を鑑賞し、秀句を選んで発表しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>俳句についての知識を確認する。</li> <li>秀句の定義、鑑賞のポイントについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。 【関・意・態】</li> <li>■俳句の形式を知り、声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。 【言語】</li> <li>□発表・ノート</li> </ul>
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書掲載の俳句を鑑賞しよう。 ※高浜虚子、中村草田男、種田山頭火、正岡子規の四句を取り上げ、秀句の定義、鑑賞のポイントを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。 【読む】</li> <li>■俳句の形式を知り、声に出して読み、その世界に興味・関心をもって親しんでいる。 【言語】</li> <li>□発表・ノート</li> </ul>
4	<p>【図書コーナーでの授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料を使用して近代の様々な俳句を鑑賞しよう。 ※図書資料を活用し、様々な俳句を鑑賞する。 ※歳時記について説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。 【関・意・態】</li> <li>■俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。 【読む】</li> <li>□観察・ワークシート</li> </ul>
5 本時	<p>【図書コーナーでの授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで俳句を鑑賞し、秀句を選んで発表しよう。 ※これまで学んだ鑑賞の知識を活かしてグループで内容を批評し、秀句を決定する。 ※図書資料を活用し、内容の理解につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■俳句を読んで、優れた表現や内容を批評しようとしている。 【関・意・態】</li> <li>■俳句を比較し、構成や表現の工夫などを評価して読んでいる。 【読む】</li> <li>□観察・発表・ワークシート</li> </ul>

#### ★【秀句の定義について】

秀句＝優れた俳句、とし、この授業では「表現が魅力的であり、季節感や情景、心情などについて、読者のイメージが豊かにふくらむ句」とおさえる。

#### ★【俳句鑑賞のポイント ～5つのK～】

- ・「切れ」はどこか。（句切れ、切れ字は句の表現をいったん切って、余情や感動を作り出す。）
- ・「季語」はどれか。（その季語は効果的か。他の季語の方がいい場合はないか。）
- ・「構造」を読み取る。（主語、述語、修飾・被修飾の関係、倒置、対比などの工夫。）
- ・「言葉へのこだわり」（表現技法はもちろん、助詞のひと文字、ひらがな表記、字余り字足らず、など言葉のこだわり、魅力的な表現を探す。）
- ・「感動」について。（俳句から浮かんだ情景や作者の発見、感動について、上記4つを根拠とし、総合的に考える。）

～俳句の鑑賞に「正解」「間違い」はなく、使われている言葉をもとにして、読者それぞれが自由にイメージを広げてよいことを確認して鑑賞させたい。～

## 4 本時の学習

### □本時の目標

- ・俳句を読んで、優れた表現や内容について仲間と交流しようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・鑑賞のポイントをもとに俳句を読み比べ、優れた表現や内容について評価することができる。【読む能力】

### □本時の展開

過程	○主な学習活動	◇教師の関わり	■評価規準 □評価方法
導入	○本日の学習の見通しを持つ。  <b>課題：グループで俳句を鑑賞し、秀句を選んで発表しよう。</b>	◇「学びガイド」を活用し、本日の学習について見通しを持たせる。	<b>【ポイント①】</b> 俳句に対する興味関心を高めるとともに、より多くの俳句にふれさせたいことから、池田町図書館に協力を依頼して俳句に関する図書資料を収集し授業で活用した。
展開	○春、夏、秋、冬、自由律グループに分かれ、提示された3句についてポイントをもとに鑑賞する。 ○グループで音読する。  <b>【図書資料の活用】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳時記を活用し、季語を調べる。</li> <li>・その句が掲載されている本から大まかな意味をとらえる。</li> <li>・鑑賞する上で疑問が浮かんたら、図書資料を活用して調べることを促す。</li> <li>・レファレンスの活用について周知する。</li> </ul> ○鑑賞のポイントをもとに、3つの句について話し合う。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「表現が魅力的であり、季節感や情景、心情などについて、読者のイメージが豊かにふくらむ句はどれですか。」 </div> ○3つの句に順位をつける。 ○選んだ秀句をグループごとに全体に発表をする。	◇ワークシートを配布する。 ◇それぞれのグループに3つの俳句を提示する。  ◇ワークシートの「鑑賞のポイント」をもとに、3句について概要を確認させる。 ※句の概要については、分担して調べさせる。  ◇秀句の定義について再確認する。  ◇なぜそれを選んだか。優れている点を挙げたり、他のものと比較するなどして批評し、後で発表できるように指示する。  ※金賞、銀賞、佳作	■興味をもって調べ、ワークシートに記入しているか。【関・意・態】 □観察・ワークシート、組み立て表  ■鑑賞のポイントをもとに、その俳句のイメージを広げているか。【読む能力】 □ワークシート、発表内容  <b>【ポイント②】</b> 俳句をより深く読み取ることを目的に、鑑賞する上で浮かんた疑問などを調べるため学校図書館の図書資料を活用した。
終末	○学びガイドを使用し、今回の単元で学んだことのまとめと振り返りを行う。	◇学びガイドへの記入を指示する。	■学びガイドによる自己評価

※「学びガイド」とは、単元ごとに、授業や単元のはじめに使用して単元の見通しを持たせ、単元の終末には、児童が身についた言葉の力を振り返るために活用している。また、単元の大まかな内容や身に付けたい言葉の力を明記し、自己評価（A・B・C）や振り返り欄がある。

## 「チーム読書」池田中学校の取組

### 取組 池田町図書館との連携

池田中学校では、池田町図書館との連携を図り、以下のような取組を行っています。



【学校図書館（図書資料）を活用した授業】



【授業の進度と合わせて関連本を展示】



#### 【生徒の感想】

- ・ネットで調べる方が簡単だと考えていたが、本も思ったより良い情報がたくさんあって、役立った。
- ・本は情報がまとまっていて、インターネットより情報が少ないけれど、正確で調べやすかった。
- ・インターネットの方が簡単に情報が手に入るけれど、本の情報の方が信憑性が高く、安心して書くことができる。

北海道学力・体力向上対策推進事業  
学校図書館活用促進事業  
事例集

令和2年3月発行

編集・発行 北海道教育委員会

